











報告書抄録

ふりがな	みなみいなごえいせき							
書名	南稲越遺跡							
副書名	北陸新幹線建設事業に伴う調査11							
巻次								
シリーズ名	福井県埋蔵文化財調査報告							
シリーズ番号	第186集							
編著者名	野路昌嗣(編) 赤澤徳明							
編集機関	福井県教育庁埋蔵文化財調査センター							
所在地	〒918-8226 福井県福井市大畑町97-21-3 TEL 0776-53-7977 E-mail : maibun-c@pref.fukui.lg.jp							
発行年月日	2024年3月8日							
ふりがな 所収遺跡名	ふりがな 所在地	コード 市町村 遺跡番号		北緯	東経	調査期間	調査面積	調査原因
みなみいなごえいせき 南稲越遺跡	ふくいけん 福井県 あわらし 市 いい 伊井	182087	10077	36° 19' 81"	136° 23' 88"	20151101 ～ 20180630	5,080㎡	記録保存 調査
所収遺跡名	種別	主な時代	主な遺構	主な遺物		特記事項		
南稲越遺跡	集落	弥生時代後期 ～古墳時代前期 古代 中世	竪穴建物、掘立柱建、 井戸、土坑、溝、小 穴、流路	弥生土器 古式土師器 須恵器・土師器 緑釉陶器 黒色土器 土師質皿 陶磁器 石器・石製品 玉作り関連遺物				
要約	<p>南稲越遺跡は、あわらし市南稲越集落の南東、竹田川左岸の自然堤防上に位置する。遺構には、弥生時代後期～古墳時代前半と考える掘立柱建物を多く確認し、土坑・溝、流路からは多くの土器が出土している。また、密度は散漫となるが、古代の掘立柱建物・井戸・土坑・溝などのほか、中世の井戸、溝などを確認した。</p> <p>遺物には弥生時代後期～古墳時代前期の多くの土器を中心に、石器・玉作り関連遺物がある。古代の遺物には須恵器・土師器の他、灰釉・緑釉陶器など多様かつ多種の器種があり、文字関連遺物はないものの、有力者層の存在を窺わせる。中世においても、輸入陶磁を含む他地域産の陶磁器が多く出土した。</p> <p>弥生時代後期～古墳時代前期を主体とするが、断続的かつ広範囲に展開する集落遺跡である。</p>							

---

福井県埋蔵文化財調査報告 第186集

## 南 稻 越 遺 跡

— 北陸新幹線建設事業に伴う調査11 —

令和6年2月27日 印刷

令和6年3月8日 発行

発行 福井県教育庁埋蔵文化財調査センター  
〒918-8226 福井県福井市大畑町97-21-3

印刷 白崎印刷株式会社  
〒910-0843 福井県福井市西開発3-715

---

